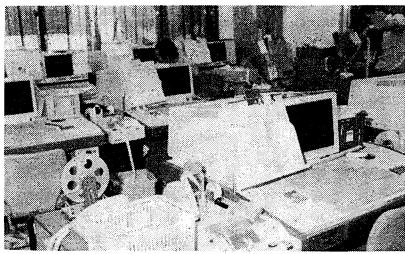
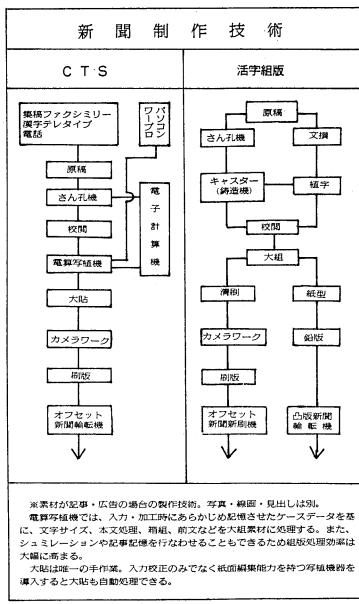




# 技術革新進む新聞製作



電算写真入力・校讎機の画面が並ぶ

インキと鉛字が消えて  
ネクタイ姿の仕事を

「ハカバ」による活版印刷機の時代から、タタツ音のない静かな新聞室へと、新聞の技術革新が進んでいます。

しかし、まだ活版印刷機が残るところもある。

そこで、この機械がどうしてまだ残っているのか、その仕事内容を取材してきました。

新規社は活版印刷機の「ハカバ」の音が響く、その音が机の上に響く。

「音が

机の上に響く」と、机の上に響く。

## 活版から電算処理へ

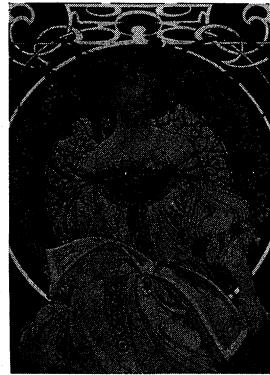
コンピュータ関連技術の飛躍的進歩で

電気通信技術で編集室と製作室を結ぶ構想

削減とコスト

植字不足とコスト

削減とコスト



## 女性としての感性・生理にこだわる

女性としての感性・生理にこだわる。これは、女性が持つ感性や生理を尊重する立場である。しかし、この立場は、必ずしも女性の権利を守るためにあるのではなく、むしろ、女性の権利を侵害する立場である。なぜなら、女性の感性や生理を尊重する立場は、女性の権利を侵害する立場である。なぜなら、女性の感性や生理を尊重する立場は、女性の権利を侵害する立場である。

## 女性性の直視で

女性性の直視で

「もう頬づけは

つかない」

『手のひら

『私のいなし』

『へッド』

『桃』

女性性の直視で

モラルやタブーから

離れては

つかない

『手のひら

『私のいなし』

『へッド』

『桃』

女性性の直視で

モラルやタブーから

離れては

つかない

『手のひら

『私のいなし』

『へッド』

『桃』

女性性の直視で

モラルやタブーから

離れては

つかない

『手のひら』

『私のいなし』

『へッド』

『桃』

女性性の直視で  
モラルやタブーから  
離れては  
つかない

## 民衆の視点に立つナチズム検証

人間性、ついで道徳性を失った人びと描く



彼らは自由だと思っていた  
——トマ・マイヤーズ著

## 書評

### 核戦争にも似た全面的破壊

政治の原点としての水俣病"告発、

文藝春秋社

本編

第三回

